

TRUCK INFORMATION WAKAYAMA

トラック情報



公益社団法人 和歌山県トラック協会



CONTENTS

協会だより

1~9 年頭のご挨拶

10 会員だより

10 栄えある表彰おめでとうございます

11 理事会が開催されました

12 正副会長会議・総務委員会合同会議が開催されました

12 2021年度各種助成金 申請状況

13 和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

14 軽油価格調査集計表

15 協会日誌

16 近畿交通共済のページ

謹賀新年

新春を迎え、会員皆様方の

ご多幸と事業の益々のご繁栄を

お祈り申し上げます。

令和四年 元旦

公益社団法人和歌山県トラック協会

専務理事	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
和佐純宏	藪本恵三	和田耕司	横山郁芳	榎本智信	小浦正臣	阪本享三



年頭のご挨拶



公益社団法人和歌山県トラック協会
会長 阪本 享三

明けましておめでとうございます。

令和4年（2022年）の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆様方には当協会の事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、バイデン米新大統領就任、ミャンマー国軍がクーデターにより政権奪取、米アマゾン創業者のジェフ・ベゾス氏が立ち上げた宇宙企業「ブルーオリジン」が宇宙船を自社のロケットで打ち上げ顧客を乗せた世界初の宇宙旅行に成功、アフガニスタンの旧支配勢力のタリバンが首都カブールを制圧し再支配、米軍がアフガニスタンから撤退、松山英樹がマスターズ・トーナメントで優勝、大谷翔平がMLBで大活躍、米国プリンストン大上級研究員の真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞に決定、燃料価格高騰により主要消費国が価格を下げるため国家備蓄の燃料を放出を表明、新型コロナウイルスの変異株のオミクロンの発生、アメリカで記録的な竜巻が発生し死者多数などがありました。

国内では、新型コロナウイルスの感染拡大により各地での緊急事態宣言の発令、緊急事態宣言下の深夜に外で飲酒したということで国会議員数名が議員辞職や離党、罰則を伴う改正新型インフルエンザ対策特別措置法が成立、森東京五輪・パラリンピック大会組織委員会会長が女性蔑視発言で辞任し後任に橋本五輪相が就任、福島・宮城・青森等東北地方での地震が多発、新型コロナウイルスの影響で旅行最大手のJTBが資本金を1億円に減資して中小企業に、総務省幹部や職員が菅首相の息子が勤める利害関係企業の接待を受けていた問題で国家公務員倫理規程に違反する11人を処分並びに内閣広報官が辞職、谷脇総務審議官が利害関係者であるNTTに接待を受けたとして更迭、楽天と日本郵政が資本提携、参議院広島選挙区再選挙・参議院長野選挙区補欠選挙・衆議院北海道2区補欠選挙（不出馬）で自民党が全敗、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始、ホンダが2040年までに電気自動車（EV）と燃料電池自動車（FCV）の販売比率を全体販売比率の100%に増やすと発表、デジタル改革関連法案成立、高齢者等の操作ミスによる交通事故の多発により新車のバックカメラ・障害物検知システムの義務化、国民投票法改正案成立、土地規制法成立、千葉県八街市で飲酒運転の自家用トラックが下校途中の小学生の列に突っ込み児童5人死傷、三菱電機が鉄道用空調設備で30年以上性能検査を偽装、活発な梅雨前線により静岡県熱海で大規模な土石流により甚大な被害発生、東京都議会選挙が行われたが自公が過半数に届かず、新型コ

コロナウイルスの影響で1年延期して東京オリンピック・パラリンピックを大半無観客で開催、「奄美・沖縄」が世界遺産に、連続的な大雨で全国各地で大きな被害が出る、新型コロナウイルスのワクチンの一部に異物混入、千葉県での白ナンバーの飲酒運転事故を受けて2022年4月から安全運転管理者を選任する事業者にも飲酒検査の義務化を施行、菅総理総裁選に立候補せず辞任を表明したため岸田文雄候補・河野太郎候補・高市早苗候補・野田聖子候補で自民党総裁選挙が行われ過半数を超える得票を得た候補者がいなかったため岸田候補・河野候補による決選投票が行われ岸田候補が新総裁に選ばれ岸田内閣の誕生、東京・千代田区でタクシーが歩道に突っ込み6人が死傷した事故で原因は運転手のくも膜下出血が原因、横綱白鵬の引退、世界的なエネルギー価格の高騰を受けてガソリン価格の急騰、秋篠宮家の眞子さまご結婚、衆議院選挙が行われ自民党が単独過半数を維持したが甘利幹事長が小選挙区で敗退（比例区で当選）し辞任、後任に茂木敏充外相が就任、立憲民主党の枝野代表も野党共闘で告示前の議席を下回る結果となったため代表職を辞任し新代表に泉健太氏、走行中の京王線の特急電車で刃物を持った男が乗客を襲い電車に放火する事件の発生、日本大学で大学付属病院をめぐる背任事件が発生、国土交通省による建設業の基幹統計の書き換えの発覚、大阪市北区の雑居ビル内のクリニックで放火事件があり24人が死亡するなどありました。

運輸業界におきましては、出だしが遅かった「標準的な運賃」の届出が進む、新型コロナウイルスの影響により全国トラック運送事業者大会の中止等事業の縮小、燃料の高騰問題で燃料価格高騰経営危機突破総決起大会の開催、衆議院議員選挙の演説会への参加促進のため参加者に交通費を支払った件で問題となる、中国による尿素の輸出禁止による国内の尿素水の価格高騰並びに品薄の発生などがありました。

和歌山県に於きましては、50年ぶりに豚熱が発生し290頭殺処分、第45回全国高等学校総合文化祭の開催、紀の国わかやま文化祭2021の開催、夏の全国高等学校野球選手権大会が奈良と和歌山の兄弟校対決となり智弁和歌山が21年ぶり3回目の優勝、老朽化が進む和歌山市民会館の機能を集約し市民の芸術文化活動を発信する場・にぎわいの文化交流拠点として新市民会館となる和歌山城ホールの開館、和歌山市の紀の川にかかる水管橋の一部が崩落し最大で6万戸が断水、衆議院選挙で和歌山1区の門候補が小選挙区落選し比例区で復活出来なかったため和歌山県選出の国会議員が1名減る、山梨に続いて和歌山でも御坊を中心に震度5の地震が発生するなどがありました。

トラック協会におきましては、新型コロナウイルスの影響により多くの会議や行事等の中止など事業規模が縮小されトラックの日のイベントも昨年度同様集客は行わずメディアを利用したイベントの開催、標準的な運賃の届出が85%以上で近畿のトップとなる、和歌山市の紀の川にかかる水管橋の一部崩落で和歌山県の依頼を受け4トン車1台・11トン車1台で飲料水約800ケースを輸送、燃料価格高騰により東京で開催された「燃料価格高騰経営危機突破総決起大会」に参加するなどがありました。

本年は、和歌山県で実施される色々な行事への協力により公共機関としてのトラック運送事業の社会的貢献による地位の向上により若者がトラックドライバーを職業として選択してもらえるようイメージアップ、新型コロナウイルスのトラックドライバーの安全確保、より一層の「標準的な運賃」届出の推進し更なる一歩として荷主の理解と協力を得る事業に取り組む、また燃料価格高騰による経営危機を突破するために各種要望活動を実施する所存でありますので、会員事業所のご協力をよろしくお願い申し上げます。

もとより微力な私ではありますが、これからも公益社団法人として、公益性のある事業により一層取り組み「産業と国民の生活を守る」トラック運送業界であるよう、また極めて厳しい折柄ではありますが会員皆様の事業所が繁栄するよう最善の努力を致しますので、会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご多幸と事業のご繁栄を祈念して新年のご挨拶と致します。



近畿運輸局和歌山運輸支局長
山 岡 宏

1. はじめに

新年、あけましておめでとうございます。

令和4年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が国内で報告されてから早いもので、既に2年弱を要しておりますが、未だ感染は終息せず昨年はその対応に明け暮れた1年となりました。

また、年末に入り新たな変異株の感染も報告されており、和歌山運輸支局としても、状況に応じた社会作りに取り組む必要があると考えております。

特に関西では他地域と比べ、インバウンドの恩恵を受けて経済が活性化していましたが、インバウンドが消失したために、交通事業者も苦境に立たされており、観光需要の回復が非常に重要だと認識しております。

本稿をご覧頂いている皆様の多くは、未だ厳しい経営環境にあると思いますが、政府による支援等を最大限にご活用いただき、今の困難な状況を乗り越えていただきたいと存じます。

2. 取組み方針

新年にあたり、運輸・観光行政に関し、「新型コロナウイルス感染症対策」、「観光政策への取組」、「安全・安心の確保や環境・バリアフリー対策の実施」及び「公共交通の整備・維持確保」の4つの柱を中心に進めてまいります。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

これまでも、政府として、業種横断的に、雇用調整助成金、持続化給付金、金融機関を通じた実質無利子となる資金繰り支援等を実施してきたところです。また、国土交通省としても、補正予算を活用した感染防止対策をはじめ、実証運行（航）に対する補助、交通事業者が観光事業者等と連携し、観光拠点を再生し、地域全体で魅力と収益力を高める事業に対する支援、各種法令の弾力的運用等を通じた支援等を行って参りました。さらに、地方創生臨時交付金が、公共交通や観光への支援に活用されるよう、和歌山運輸支局からも地方自治体に様々な場面で要請を行って参りました。

加えて、昨年11月に、新たな経済対策「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」が策定され、昨年度の補正予算及び本年度予算を通じて具体化されることとなります。

また、地方創生臨時交付金についても新たに所要額が措置されております。和歌山運輸支局としても、事業者団体等と連携しながら、公共交通等の支援への活用に関する、地方自治体への要請活動を継続して参ります。

(2) 観光政策への取組

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、我が国を含む各国において、海外渡航の制限や外出禁止措置が取られたことなどから、関西を訪れる旅行者、特にインバウンドによる入国者は、大幅に減少しました。

現時点で、コロナの終息時期はまだ見通せない状況ではありますが、「観光需要喚起策」「万博に向けたインバウンドの受入準備」等、来る旅行者回復の時期を見据え、様々な取り組みを行って参ります。

関西においては、2025年の国際博覧会（大阪・関西万博）や、残念ながら再延期となったワールドマスターズゲームズなどの国際的な大型イベントが開催されます。また和歌山県では、串本町の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」の建設が令和4年度中の第一号発射に向け順調に進められているほか、世界遺産をはじめ歴史・文化・自然など数多くの魅力的な観光資源も有しており、地域公共交通の確保・維持・活性化や地域活力の増進のためにも、安全で集客力のある観光資源への磨き上げや受入環境の整備と誘客を進めてまいります。

和歌山運輸支局としては、これら国際イベント等を契機とし、関西に世界中の注目と、さらに和歌山にも人が集まることを期待するとともに、集客効果を戦略的に活用し、観光再生の契機とし、地域の発展に寄与してまいりたいと考えています。

(3) 安全・安心の確保や環境・バリアフリー対策の実施

①安全・安心の確保

交通の安全を確保し、安心して交通機関を利用していただくことは、交通行政の要諦であり最大の使命です。和歌山運輸支局では、引き続き運輸事業の安全・安心の確保のため、各モードの特性に応じ、最大限の努力をしております。

自動車運送事業の輸送の安全については、「事業用自動車総合安全プラン2025」に沿って関係機関や業界団体との連携を密にした取り組みを進めるとともに、監査による法令遵守の確認、特に貸切バスについては街頭監査を含めた監査等により、悪質な法令違反が確認された事業者に対しては厳正に対処してまいります。

さらに、同プランで策定された重点施策に基づき、「健康管理マニュアル」や「脳血管・心臓疾患対策ガイドライン」等の更なる周知を図り、適切な健康管理の徹底と、飲酒運転やあおり運転等の悪質運転違反の根絶に向け、関係者の皆様と一丸となって、事故・違反のない安全・安心な交通社会の実現に向け取り組んでまいります。

自動車の検査・登録については、ユーザーの利便性向上や負担軽減のため、自動車保有関係手続きワンストップサービスの利用促進に取り組んでまいります。

また、OSSによる継続検査の申請であってもなお残る自動車検査証の受取りの来訪を不要とする自動車検査証の電子化については、令和5年1月からの導入に向け、準備を進めてまいります。

自動運転技術については、交通事故削減はもちろんのこと、地方部を中心とした移動の確保、ドライバー不足の解消など様々な課題の解決手段として期待されております。これら先進安全技術を搭載する自動車の誤作動を未然に防ぐために、令和2年4月から「特定整備制度」が施行され、新たに電子制御装置整備の認証を取得した整備工場が対応することとしており、さらには昨年10月から新点検基準が施行され、12ヶ月ごとの点検項目に「車載式故障診断装置（OBD）の診断の結果」が追加されました。これによりスキャンツールを活用した電子制御装置整備技術の普及に努め、新技術に対応する取り組みを進めてまいります。

整備不良車両及び不正改造車両対策については、街頭検査による保安基準適合性の確認、自動車ユーザーへの啓発に取り組むとともに、整備事業者に対しては監査により法令遵守の確認を図り、悪質な法令違反を行う事業者に対しては厳正に対処してまいります。

海運については、走錨対策として、荒天時における運航管理者等からの適切なサポートや、飲酒対策としての、アルコール検知器を用いた検査体制の導入、新型コロナウイルス感染予防対策の実施状況の確認など、監査等の機会を捉え、事業者及び各船舶に対し指導してまいります。

また、危険物積載船には立入点検を実施し、安全設備の適正な維持・確認を行うとともに、外国船舶に対してはポートステートコントロールを的確に実施し、特にコロナ禍によって違法に長期間乗船が続いている船員の交代を指導するなど、航行の安全確保と海洋汚染等の防止を図ります。さらに、プレジャーボート等の小型船舶を対象とする船舶検査受検及び救命胴衣着用の指導等の安全対策を行ってまいります。加えて、「船舶油濁等損害賠償保障法」に基づく保障制度につきましても着実に実施してまいります。

これら運輸事業の安全・安心の確保のためには、経営トップから現場まで事業者自らが社内一丸となった安全管理体制を構築し、積極的に取組むことが不可欠です。安全思想の普及・強化に向けて、引き続き運輸安全マネジメント制度を推進してまいります。

防災・危機管理対応については、近年、豪雨や大型の台風等による自然災害が全国各地に甚大な被害をもたらしています。これら災害への迅速かつ適切な対応のため、関係自治体、関係事業者等と連携により防災危機管理体制の更なる強化・向上を図ってまいります。

国民生活や社会経済活動の維持に大きな役割を担う運輸事業者等には、自然災害発生時等での被害軽減、拡大防止を図るとともに、業務活動の維持、早期回復が求められています。防災体制の構築及び実践にあたってのガイダンスとなる「運輸防災マネジメント指針」（防災指針）を踏まえ、運輸事業者等が取組を推進することとなりますが、運輸安全マネジメント評価を通じ、制度の充実を図ってまいります。

②環境対策

我が国においては、2050年カーボンニュートラル目標に向けて、温室効果ガスの削減目標を従来の「2030年度に2013年度比で26%削減」から「46%削減へと大きく引き上げ、さらに、「50%削減」の高みに向け挑戦を続けることとされています。

当局においても、事業用車両への次世代自動車の普及促進やグリーンスローモビリティ等の新たなモビリティサービスの導入促進、エコ通勤の普及促進のほか、物流総合効率化法の枠組みによる支援をはじめとしたグリーン物流の推進など、様々な分野での取り組みを通じて、持続可能で強靱なグリーン社会を将来世代に引き継いでいけるよう、総力を挙げて取り組んでまいります。

また、一昨年のSOx規制強化など、世界的に強化されている環境規制に的確に対応してまいります。

③バリアフリー対策

高齢者、障がい者等が、いつでもどこへでも、安全・安心かつ円滑に移動し、施設を利用することができる社会の実現が求められています。そのためにはハード整備とともに、ソフト面における取組みが重要です。

バリアフリー法に基づき、「心のバリアフリー」に係る施策などソフト対策等の強化に向け、広報活動、啓発活動に取り組んでまいります。

(4) 公共交通機関の整備・維持確保

①公共交通機関の整備・維持確保

生活交通の維持・確保のためには、地方公共団体が自らの地域における公共交通のあり方を検討し、「地域公共交通計画」の策定を進めることが重要です。和歌山運輸支局においても、同計画の策定に向けた積極的な支援を引き続き実施して参ります。

また、エッセンシャルワーカーとしての使命を果たしている乗合バス運転者の賃金等の労働条件の改善が適切に反映できるよう、運賃の認可基準となる人件費の算定方法について、健全な事業を

行えるよう見直してまいります。

タクシーについては、昨年11月1日から、配車アプリ等を通じて、目的地の近い旅客同士を運送開始前にマッチングし、タクシーに相乗りさせて運送するサービスを認める新たな制度を導入しました。既に導入した事前確定運賃や一括定額運賃等、利用者の利便性の向上、新たなタクシー需要を喚起するためのタクシー事業の活性化の取り組みに協力して参ります。

②物流の生産性向上、人材の確保等

トラック事業においては、ドライバーの労働環境が全産業と比べて長時間労働・低賃金の状況にあり、担い手不足が深刻になっています。令和6年度からの時間外労働の上限規制が適用されればさらに深刻になることから、将来にわたってその機能を維持していくためにはトラック輸送の生産性向上、物流の効率化、誰もが働きやすい労働環境の整備にトラック事業者と荷主が協力をして取り組んでいく必要があります。

ドライバーの労働条件の改善や法令を遵守し、持続的に事業を行っていく際の参考となる「標準的な運賃」について、荷主との運賃交渉を行い適正運賃収受ができるよう関係機関の協力を得ながら荷主へ理解と協力を求めてまいります。

フェリー・内航海運については、国民生活や経済活動を支える基幹的な輸送機関であり、モーダルシフトの担い手として、また平時のみならず災害時の緊急輸送手段として重要な存在となっているところです。管内の和歌山～徳島フェリー航路も和歌山県の物流・観光の振興に寄与するものであり、引き続き、航路の維持・活性化に取り組んでまいります。

現在、和歌山下津港においては、次期港湾計画の改定に向けて「和歌山下津港長期構想検討委員会」が立ち上がり、検討を行っています。20～30年先の港の将来像を描き、今年中に長期港湾構想を見直すことになっております。

和歌山運輸支局としても、和歌山下津港が、時代に適応した港湾となり、人流・物流の双方のさらなる活性化により、和歌山県の発展に寄与することを期待し、関係業界団体と共に、積極的に参画してまいります。

また、和歌山運輸支局と海事関係団体等との共催による、和歌山市内の小学生と保護者を対象にした「海の教室」を開催し、次世代を担う小学生が海や船に関する仕事についての理解を深め将来の職業選択の一つとなるよう、取組を進めて参ります。

コロナ禍中においてなお、人材不足問題は喫緊の課題です。バス・タクシー・トラックドライバー、自動車整備士、船員や造船技能者の人材確保や女性の活躍推進について、官民連携による学校訪問、出前授業、イベント開催時の広報活動等、コロナ後を見据え、引き続き推進してまいります。

3. おわりに

以上、新しい年を迎え、所信を申し述べました。

まずは、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、大きな影響を受けた皆様の生活や経済活動を復活させるべく、本年も全力を挙げて各種取組を進めて参ります。

さらに、大阪・関西万博の開催に向けた準備への支援や交通・観光行政を通じた関西の発展と、皆様の豊かで快適な生活の実現に貢献して参りたいと考えています。

今後とも当局の行政に対し、皆様方の一層のご支援、ご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



和歌山県知事
仁坂吉伸

あけましておめでとうございます。

謹んで公益社団法人和歌山県トラック協会の皆さんに新春のお慶びを申し上げます。

和歌山県トラック協会の皆さんにおかれましては、平素より私たちの暮らしと経済を支える基幹産業であるトラック輸送を担ってくださっていることに対し、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の波が何度も打ち寄せ、そのたびに医療崩壊の危機にさらされました。しかし、本県では、保健医療行政による感染の抑え込みに全力を尽くすことにより、感染者の全員入院を最後まで堅持することができました。改めて、コロナ禍において、安全に配慮しつつ生活必需品や医療物資など、様々な物資の輸送を継続してくださった皆さんに、深く感謝を申し上げます。

また、コロナ禍の長期化により社会の閉塞感が高まる一方で、東京2020オリンピック・パラリンピックで、アスリートの皆さんが力の限りを尽くして競技に臨む姿が、日本中に感動を与え、コロナ禍で沈みがちな気分を晴らしてくれました。県内でも、多くの方々を迎えて「紀の国わかやま総文2021」、「紀の国わかやま文化祭2021」を開催し、「文化の咲き誇る和歌山」を実感することができました。

今、世界を見ると、DX（デジタルトランスフォーメーション）が加速度的に進むなど、コロナ禍を契機として人々の働き方、暮らし方は、大きく変わってきています。

こうした状況の中、地域経済を支え、成長させるためには、この機を逃すことなく、新たな施策を展開し、ポストコロナ時代に挑み、和歌山を力強く飛躍させなければなりません。

そのため、本年は、「DX和歌山」の実現に向けて、県庁内にDX本部を立ち上げ、行政のあらゆる分野において、DXを強力に推進します。また、テレワークの普及など地方分散の流れを追い風に、「個人移住」、「農林水産業の担い手としての移住」、「企業誘致に伴う移住」及び「転職なき移住」の4方面をターゲットとして、和歌山へ人と企業を呼び込みます。

そして何より、飛躍の基盤である県民の皆さんの暮らしと経済を守るため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐとともに、コロナ禍で甚大な影響を受けた産業への支援などに取り組みます。

折しも今年は、串本町の日本初の民間小型ロケット発射場で、小型ロケット「カイロス (KAIROS)」の初打ち上げを迎える予定です。本年が和歌山県にとっても、新たな世界へと飛躍を遂げる希望の年となるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

この一年が、和歌山県トラック協会の皆さんにとって幸ある年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

会員だより

◎変更届

届出年月	変更事項	新	旧
令和3年12月	住 所	(株)エス・ディ・ロジ 和歌山市加納295-15	(株)エス・ディ・ロジ 和歌山市松江字音浦323-1
令和3年12月	住 所	(株)スギタ 田辺市下三栖1475-143	(株)スギタ 田辺市南新万16-20

◎新規会員の紹介

事業者名	指定代表者名	住 所	車両数	加入年月日
マルク(株)	松 本 洋 幸	和歌山市和歌浦中2丁目12-32	5両	令和3年 12月27日

◎訃 報

次の方がお亡くなりになりました。謹んでお悔やみ申し上げますと共に、心よりご冥福をお祈り致します。

○ (株)アートラック・シマダ 代表取締役会長 嶋田彰夫 様 (享年 77 歳)

栄えある表彰おめでとうございます

国土交通大臣表彰

令和3年自動車関係功労者に対する国土交通大臣表彰式が、去る12月9日(木)午前11時より帝国ホテル 富士の間で行われ、貨物運送関係では経営者表彰50名、運転従事者29名の方々が受賞されました。

当協会からは 笥 衛氏(関西名鉄運輸株式会社)、瀧畑光男氏(阪和郵便輸送株式会社)、森本精治氏(株式会社キング・ライン)、吉田勝博氏(河西運輸株式会社)が、永年優良運転者として受賞されました。

心からお祝い申し上げますと共に、今後益々のご活躍を祈念致します。



理事会が開催されました

- 開催日時** 令和3年12月23日（木）13時50分～14時40分
開催場所 和歌山県トラック会館 3階大会議室
出席者 【会長】 阪本 享三
【副会長】 小浦 正臣、榎本 智信、横山 郁芳、和田 耕司
【専務理事】 和佐 純宏
【理事】 岡崎 良彦、大浦 寛海、池田 政隆、中嶋 直人、坂本 敦弘、大原 貴美、虎谷 勝之、鳥羽 弘基、仮谷 依子、柏原 政夫美、佐々木 邦明、杉本 和隆、楠谷 昌紀
【監事】 高橋 淳之、西岡 義高
【事務局】 上西 克紀、市坪 幸男、勢古 博基、宮木 啓之、高松 遼大

議 題

審議事項

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
第2号議案 和歌山県トラック会館移転に係る候補地について



報告事項

- (1) 広報委員会委員長報告

議事状況

定刻になり、事務局より開会宣言と出席理事数は定足数を充足し、よって定款第40条の規定により本理事会は適法に成立している旨の報告を行い、阪本会長より開会挨拶を行った後、定款第39条の規定に基づき、本日の議長に榎本智信理事を指名しました。

【審議事項】

- 第1号議案 新規加入会員の承認について
・2社の加入を承認可決しました。

第2号議案 和歌山県トラック会館移転に係る候補地について

- ・前回理事会において承認された物件について、購入に至らなかった旨の報告、並びに経緯説明を行いました。また、次の候補地として正副会長・総務委員会より物件の提案があり、検討の結果、当該物件について詳細な調査、並びに地主との交渉等について、正副会長・総務委員会で進めていくことで承認しました。

【報告事項】

- (1) 広報委員会委員長報告
・仮谷委員長より、9月22日・11月18日開催の委員会議事報告を行いました。
- (2) その他について
・事務局より、来る1月21日開催予定の理事会について事務連絡を行いました。

正副会長会議・総務委員会合同会議が開催されました

- 開催日時** 令和3年12月10日（金）13時30分～14時33分
開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室
出席者 【正副会長会議】 阪本 享三、小浦 正臣、榎本 智信、和田 耕司
 【総務委員会】 鳥羽 弘基、大浦 寛海、池田 政隆、大原 貴美、楠谷 昌紀
 【オブザーバー】 和佐 純宏
 【事務局】 上西 克紀、市坪 幸男、嶋田 能久、勢古 博基

議 題

- (1) 和歌山県トラック会館移転に係る候補地について

概 要

和歌山県トラック会館移転に係る候補地について、詳細に検討を行いました。



2021年度各種助成金 申請状況

2021年12月21日現在

2021年度 助成金	予算額(千円)			申請額 (千円)	実行率 (%)	申請締切日
	全ト協	和ト協	合計			
ドライバー等安全教育訓練促進助成金	1,240		1,240	1,022	82.5	2022年3月31日
睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査助成金	1,060		1,060	340	32.1	2021年12月28日(実績報告は2022年2月28日)
環境対応車導入助成金	※1	1,000	1,000	288	28.8	2022年1月31日(車両登録は2022年3月12日)
安全装置等助成金	2,120	1,600	3,720	1,786	48.1	2022年2月28日
ドラレコ機器等導入促進助成金		2,000	2,000	601	30.1	
蓄熱マット等購入助成金		500	500	101	20.2	2022年1月31日
アイドリングストップ支援機器導入助成金	480		480	30	6.3	2022年2月28日
血圧計導入促進助成金	1,390		1,390	0	0	
グリーン経営認証助成金		200	200	80	40	
上位運転免許(大型・中型・けん引)・準中型取得助成金	※2	2,900	2,900	1,460	50.4	
定期健康診断助成金		8,000	8,000	2,834	35.5	
信用保証料助成金	※3	1,000	1,000	0	0	
点呼支援機器等導入助成金	※4	5,000	5,000	100		
Gマークステッカー購入助成金		500	500	0	0	

※1 全国で180,000千円 ※2 全ト協 準中型免許のみ助成 全国で100,000千円 ※3 全国で40,000千円
 ※4 全国で5,000千円

2021年12月21日現在の各種助成金の申請状況です。

- 助成金申請書・要綱等は和ト協ホームページよりダウンロードできますのでご利用いただくか和歌山県トラック協会・交付金課宛ご連絡下さい。
- 蓄熱マット助成金申請については、指定取扱機関の和歌山県貨物運送事業協同組合連合会(TEL073-422-2822)に申請して下さい。
- 但し、予算に達した時点で終了となりますのでご了承下さい。
- Gマークステッカー助成金については1月4日から申請受付。今年度取得、更新事業所に限ります。

和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

2021年度交通事故防止等啓発事業の一環と致しまして、財団法人交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品の寄贈を行いました。

贈呈につきましては、去る2021年12月12日(日)、公益財団法人交通遺児を励ます会主催、独立行政法人自動車事故対策機構和歌山支所共催によるボウリング大会が交通遺児家族を対象に交通安全を呼びかけることを目的に、和歌山市の「和歌山グランドボウル」に於いて開催され、当協会と致しましても、交通遺児家族の少しでもの一助となりますよう、和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長に景品を贈呈させて頂きました。

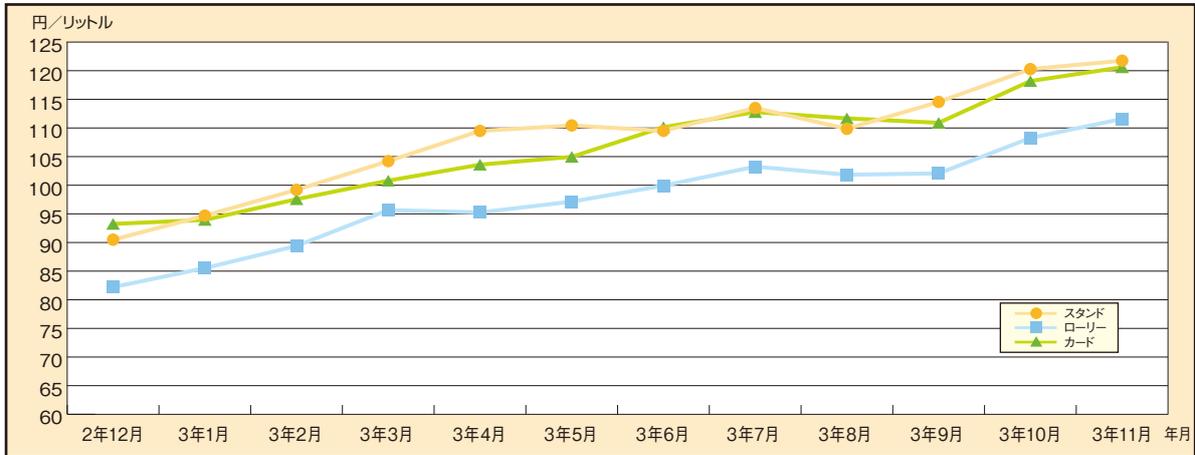
また、後日2021年12月23日和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長が協会を来訪し、阪本会長に感謝状授与式が行われました。



軽油価格調査集計表

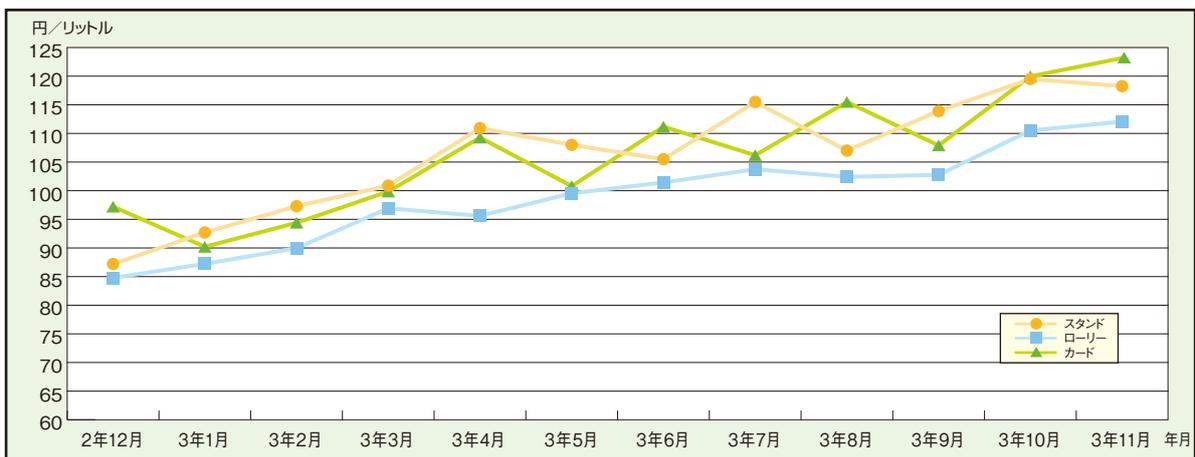
令和3年12月24日現在
(公社) 全日本トラック協会

軽油価格推移グラフ (近畿)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2020年 12月	90.49	1.65	82.21	4.31	93.25	5.90
2021年 1月	94.69	4.20	85.53	3.32	93.94	0.69
2021年 2月	99.20	4.51	89.40	3.87	97.56	3.62
2021年 3月	104.21	5.01	95.67	6.27	100.80	3.24
2021年 4月	109.48	5.27	95.25	-0.42	103.59	2.79
2021年 5月	110.44	0.96	97.14	1.89	104.96	1.37
2021年 6月	109.50	-0.94	99.93	2.79	110.14	5.18
2021年 7月	113.48	3.98	103.25	3.32	112.77	2.63
2021年 8月	109.85	-3.63	101.83	-1.42	111.68	-1.09
2021年 9月	114.55	4.70	102.07	0.24	110.90	-0.78
2021年 10月	120.28	5.73	108.25	6.18	118.19	7.29
2021年 11月	121.75	1.47	111.58	3.33	120.60	2.41

軽油価格推移グラフ (和歌山)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2020年 12月	87.20	-2.04	84.77	5.75	97.21	15.11
2021年 1月	92.70	5.50	87.23	2.46	90.20	-7.01
2021年 2月	97.29	4.59	89.96	2.73	94.40	4.20
2021年 3月	100.87	3.58	96.92	6.96	99.85	5.45
2021年 4月	110.92	10.05	95.60	-1.32	109.27	9.42
2021年 5月	108.00	-2.92	99.55	3.95	100.80	-8.47
2021年 6月	105.50	-2.50	101.43	1.88	111.17	10.37
2021年 7月	115.50	10.00	103.74	2.31	106.20	-4.97
2021年 8月	107.00	-8.50	102.41	-1.33	115.49	9.29
2021年 9月	113.90	6.90	102.76	0.35	107.90	-7.59
2021年 10月	119.50	5.60	110.50	7.74	119.97	12.07
2021年 11月	118.25	-1.25	112.06	1.56	123.15	3.18

協会日誌

開催日	行 事	開催地
2021年 12月	1日 令和3年度「標準的な運賃」活用セミナー（応用編）	和歌山市
	2日 燃料価格高騰経営危機突破総決起大会	東京都
	// 全ト協・理事会	//
	6日 高速安協街頭啓発	和歌山市
	7日 標準的な運賃並びに燃料価格高騰に対する荷主団体への要請	//
	8日 整備管理者定期研修	紀の川市
	9日 適正化指導員連絡会議	和歌山市
	// 自動車関係功労者大臣表彰式	東京都
	10日 正副会長会議・総務委員会合同会議	和歌山市
	// 正副会長会議	//
	15日 整備管理者定期研修	有田川町
	16日 近畿運輸局自動車交通部長との懇談会	大阪市
	// 令和3年度近畿地区物流政策懇談会	//
	23日 理事会	和歌山市

開催日	行 事 予 定	開催地
2022年 1月	6日 和歌山県経済団体連合会2022年新春賀礼会	和歌山市
	12日 正副会長会議・予算委員会・交付金運営委員会合同会議	//
	13～14日 全国専務理事業務連絡会議	大津市
	21日 理事会	白浜町
	24日 和歌山下津港ポートセミナー	和歌山市
	25日 整備管理者定期研修	新宮市
	26日 //	田辺市
	// 全ト協・新年賀詞交歓会	東京都
	27日 広報委員会	和歌山市
	28日 近ト協・幹事会	大阪市
	31日 運行管理者試験受験対策講習会	和歌山市

新年のごあいさつ



近畿交通共済協同組合
理事長 坂田 喜信

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様には健やかに新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本組合の運営につきまして格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年の我々トラック運送業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による輸送需要の変化、懸案の労働者不足や環境問題への対応など、難問が山積するなか、事業者がそれぞれの生き残りをかけ、持ち得る限りの力でこの逆境に立ち向かって参りましたが、このような厳しい事業環境のなか、年末の世界的な原油価格の高騰に伴う燃料価格の高騰が追い打ちかけ、中小トラック運送事業者は大きなダメージを受けました。

一方、近畿共済におきましては、昨年度（令和2年度）、組合員の皆様の事故を抑止するという強い意志と事故防止に対するご努力とともに新型コロナウイルス感染症による物流や人の移動の停滞が相まって事故の発生が例年を大きく下回り、その結果、近年では稀にみる利益を計上しました。また、昨年はコロナ禍においてもエッセンシャルワーカーとして奮闘されている組合員の皆様のご尽力、ご協力そしてご理解により、当組合の事業運営は一年を通して順調に推移いたしました。

ただ、事故発生件数が減少したことにより、優良割引率が増加し、組合員の皆様からお預かりする掛金が大幅に減少しております。また、事故発生状況につきましては、徐々にではありますが増加の兆しを見せ始めており、コロナ禍が沈静化した後の収支状況を注意深く見守るとともに収支管理につきましても徹底する必要があると考えております。

さて、今年は、以前より検討して参りました「もらい事故」の場合の弁護士費用を補助する弁護士費用特約につきまして、コロナ禍や軽油価格の高騰など組合員をとりまく事業環境を鑑み、4月1日より弁護士費用補助規約として期間を限定して掛金をいただくずらに実施いたします。実施後の利用状況や組合員の皆様方からご意見を頂きながら、環境が整い次第、補償内容を充実させた新たな弁護士費用補助特約を実施したいと考えております。

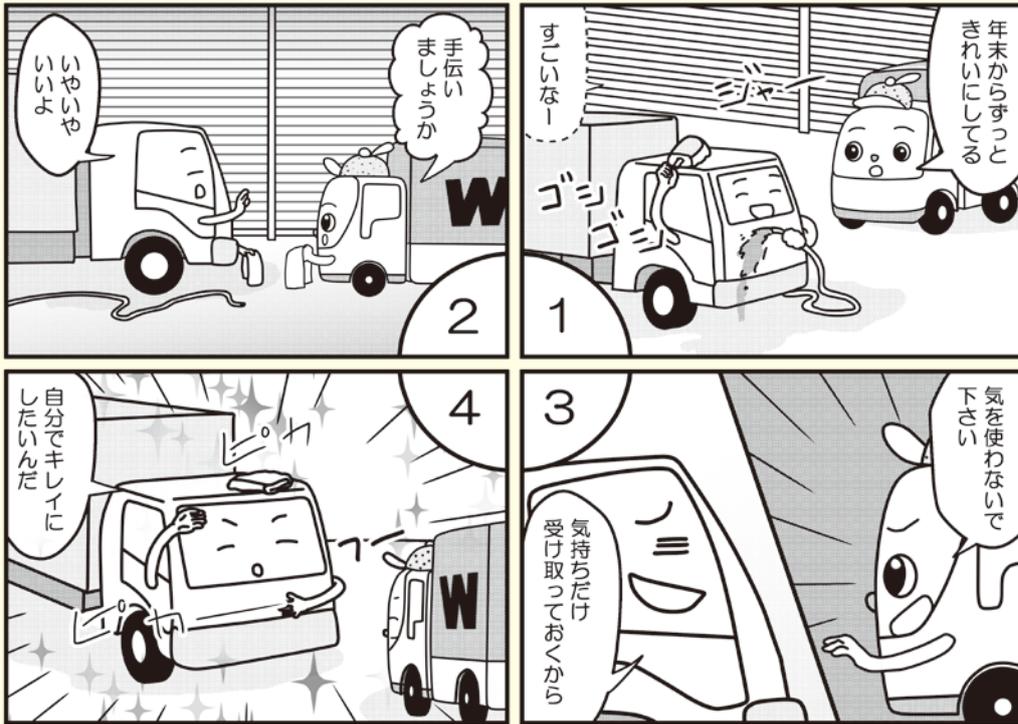
また、契約推進のため積極的に新商品の開発や新制度の拡充に取り組み、1台でも多くの共済契約を獲得し、事故防止につきましては、従来から取り組んでいる適性診断車、アクセスチェッカーミニ等の機材の積極的な活用や講習会の開催、個別訪問、事故防止キャンペーンの開催等の地道な事故防止活動を通じて1件でも事故を減少させていくことが近畿共済の運営を安定させる最も大切な施策と考えております。事故処理につきましては、組合員の皆様の満足が得られる事故処理を行いながら被害者救済という社会的責任を果たして参ります。

子会社であるキンコウセーフティ株式会社では、保険会社の代理店として積荷保険や事業者保険等の近畿共済本体で取り扱っていない商品を提供して、組合員の皆様の幅広いニーズに応えて参ります。

尚、昨年、当組合の創立50周年記念事業での不適切な支出問題で組合員の皆様には、多大なるご心配とご心痛をお掛けいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

事務局では専務理事を先頭に職員の意識の改革と体制の刷新を行い、組合員の皆様に信頼していただける共済組合となるよう変革して参ります。

新しい年を迎えるにあたり、執行部、事務局役職員一同心新たに業務に取り組み、協同組合の理念である相互扶助の精神を第一に、組合員の皆様からお預かりしている貴重な掛金で運営しておりますことを肝に銘じまして、組合員の皆様に満足いただけるサービスの提供を目指してゆく所存でございます。年頭に当たり、組合員各位のご繁栄とご発展を祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。



わがクルマ

vol.110

まんが/ファミ

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

もっと走れる明日のために。

事故も、疲労も、故障も、未然に防いでいく。
この理想を目指し、新型ギガは生まれました。
「運ぶ」という輸送企業のビジネスにおいて、
トラックに想定される様々なリスクを、
先進の装備やテクノロジーで早期に回避、低減し
より確かな安心を生み出します。
新型ギガなら、もっと走れる。いすゞとなら、もっと走れる。
もっと走れる未来がある。
お客様のビジネスがもっと輝く明日を切り拓きます。

シートベルトを止め、スピードを止めた安全運転を、点検・整備をしっかりとしましょう。



GIGA

いすゞ自動車近畿株式会社

〒649-6336 和歌山市小豆島40-2 TEL 073-488-6655



和歌山県トラック協会テーマ曲
「さあいこう」

作詞/作曲/編曲 和歌山県トラック協会

(1番)

ハンドル握り アクセル踏んで 荷台に いっぱい 夢を乗せて
晴れた時でも 嵐の日でも待ってる人が そこにいるから

朝日かがやく 海岸走り
星のきらめく あの丘越えて

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック協会

(2番)

今日も笑顔で 安全運転 優しい気持ちを いつも胸に
細い道でも 広い道でも マナーを守る 気配り上手

潮の香りの 岬をまわり
みかんの花咲く あの山のぼる

さあいこう さあいこう
幸せ 届けるため
さあいこう さあいこう
みんなと

和歌山県 トラック協会

(サビ繰り返し)

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック トラック トラック協会



「さあいこう」がカラオケ配信されています。(JOYSOUND、UGA、DAM)



発行：公益社団法人 和歌山県トラック協会
編集：公益社団法人 和歌山県トラック協会広報委員会
〒640-8404 和歌山市湊1414 TEL.073-422-6771
<http://www.watokyo.org>